

2023(令和5)年度 (第三十八期)

事業報告書

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

学校法人コア学園

I 法人の概要

1 建学時の精神（教育基本方針）

実践・実務教育

資格取得や技術を習得して、社会貢献できるための「実践・実務教育」を行い、プロフェッショナル(理論と応用及び実践力を備えた職業人)を育成していきます。

個育成教育

個々人の創造性・独創性や、持っている能力を最大限引き出すための「個育成教育」を行い、クリエイティブ(創造性・独創性)で、何事にも積極的に取り組む人材を育成していきます。

全人教育

専門知識で裏打ちされた豊かな人間性を育成するための「全人教育」を行い、ヒューマニティ(幅広い専門知識に裏打ちされた豊かな感受性)に満ちた人材を育成していきます。

2 沿革

<秋田経理学校時代>

- 昭和40年10月 秋田経理学校 設立認可
- 昭和41年 4月 本科 第1期生入学
- 昭和41年 9月 学校法人認可（学校法人秋田経理学校）
- 昭和51年 4月 専門学校認可（秋田経理専門学校）

<コア学園が秋田市茨島に秋田コンピュータ専門学校開校>

- 昭和61年 9月 学校法人認可（初代理事長 山本明氏） 秋田コンピュータ専門学校認可
- 昭和62年 2月 校舎竣工 落成式挙行
- 昭和62年 4月 開校(2年制 情報システム工学科/OAビジネス科) 校長に鎌田芳郎氏就任
- 平成63年 4月 SE専攻科(3年制)新設
- 平成元年 3月 第一回卒業式挙行 同窓会発足
- 平成 3年 4月 秋田経理学校が学校法人秋田経理情報学園秋田経理情報専門学校と改称
- 平成 7年 2月 文部科学省より修了者に専門士称号の付与認定
- 平成 7年 4月 第2代理事長に種村良平氏就任
- 平成 8年 4月 OAビジネス科より経理ビジネス科に学科名変更
- 平成12年 4月 メディアビジネス科(2年制)新設
- 平成14年 4月 校長に小玉孝一氏就任

<法人合併により秋田経理情報専門学校(茨島キャンパス・中通キャンパス)へ>

- 平成15年 4月 学校法人コア学園(秋田コンピュータ専門学校)と学校法人秋田経理情報学園(秋田経理情報専門学校)が合併し、学校法人コア学園秋田経理情報専門学校となる。(茨島キャンパス：経理科、中通キャンパス：SE専攻科/情報システム科/デジタルクリエイター科) 校長に小玉孝一氏就任
- 平成16年 2月 合併前の2校の同窓会が発足。第1回同窓会総会開催
- 平成16年 4月 校長に伊勢日出男氏就任
- 平成16年 4月 ビジネスIT科(現 ビジネスキャリア科情報ビジネスコース 2年制)新設
- 平成17年 4月 観光ビジネス科(現 ホテル・ブライダル科 2年制)新設
- 平成20年 4月 第3代理事長に児玉隆次氏就任
- 経理科経理OAコースよりコンピュータ会計科(2年制)に名称変更
- メディカルライセンス科(現 医療事務科 2年制)新設
- 平成22年 6月 校長に市田和夫氏就任
- 平成22年10月 放送大学と連携協力覚書調印
- 平成23年 4月 放送大学とのダブルスクール開始

- 平成25年 4月 秋田リハビリテーション学院 学校開設準備室設置
- 平成26年 4月 秋田経理情報専門学校 中通キャンパス校舎改修、キャンパス統合に伴い学科再編
(高度ITエンジニア科/情報システム科 アプリ開発コース、Web・CGデザインコース/ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース、情報ビジネスコース/医療事務科/ホテル・ブライダル科)
- 平成26年12月 秋田リハビリテーション学院 校舎改修工事竣工
- 平成27年 2月 秋田経理情報専門学校 職業実践専門課程に4学科認定 (高度ITエンジニア科/情報システム科 アプリ開発コース・Web・CGデザインコース/医療事務科/ホテル・ブライダル科)
- 秋田リハビリテーション学院 校舎お披露目会、落成式、祝賀会
- 平成27年 3月 秋田リハビリテーション学院 放送大学と連携協力覚書調印
- 秋田リハビリテーション学院 理学療法士養成施設指定、専門学校認可
- <秋田リハビリテーション学院開校により二校体制へ>**
- 平成27年 4月 秋田リハビリテーション学院開校 学院長に吉崎克明氏就任
秋田経理情報専門学校より「秋田コア ビジネスカレッジ」に校名変更
- 平成28年 2月 秋田コア ビジネスカレッジ 職業実践専門課程に1学科追加認定 (ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース、情報ビジネスコース)これにより全学科が認定
秋田リハビリテーション学院 文部科学省より修了者に高度専門士の称号と大学院入学資格付与
- 平成28年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ校長に小野巧氏就任
- 平成29年11月 学校法人コア学園創立30周年記念式典 挙行
- 平成30年 4月 第4代理事長に神山恵美子氏就任
- 平成31年 3月 秋田リハビリテーション学院 第1期生卒業
- 平成31年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ 学科・コース再編
情報システム科アプリ開発コース(2年制)を情報システム科IT・アプリコースに名称変更
高度ITエンジニア科(3年制)を高度職業実践科ITスペシャリストコースに名称変更
高度職業実践科Web・CGクリエイターコース(3年制)新設
- 令和 1年11月 秋田コア ビジネスカレッジ 共賛会 発足
- 令和 2年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ 学科・コース再編
ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース・情報ビジネスコース (2年制)をビジネスマネジメント科に名称変更
ホテル・ブライダル科(2年制)をホスピタリティマネジメント科ホテル・ブライダルコースに名称変更
ホスピタリティマネジメント科国際実践コース(3年制)新設
秋田リハビリテーション学院 学院長に市田和夫氏就任

3 役員概要

理事8名、監事2名、評議員19名

4 設置する学校・学科等

(1) 秋田コア ビジネスカレッジ 所在地：秋田市中通五丁目4番12号

(知事認可・文部科学大臣認定職業実践専門課程認定・修了時専門士称号付与)

○工業分野

高度職業実践科 昼間部3年制 ITスペシャリストコース/Web・CGクリエイターコース

情報システム科 昼間部2年制 IT・アプリコース/Web・CGデザインコース

○商業実務分野

ビジネスマネジメント科 昼間部2年制

医療事務科 昼間部2年制
ホスピタリティマネジメント科 昼間部2年制 ホテル・ブライダルコース
〃 昼間部3年制 国際実践コース

(2) 秋田リハビリテーション学院 所在地：秋田市茨島一丁目4番80号
(知事認可・厚生労働省指定理学療法士養成校・修了時高度専門士称号付与)

○医療分野 理学療法学科 昼間部4年制

5 役員賠償責任保険契約の状況

- (1) 保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
- (2) 被保険者 本学園の理事・監事
- (3) 保険名称 役員賠償責任保険（学校法人向けD&Oマネジメントパッケージ）
- (4) 保険内容 期間：1年間 保険料：208,000円
- (5) 保険金の支払事由および支払限度額

①支払事由

被保険者である理事、監事はその地位に基づき行った行為（不作為を含む。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等

②支払限度額 5億円

II 秋田コア ビジネスカレッジ

1 教育理念等

(1)教育理念

誠実な人材の育成

時代が変化する中でも、職業人として「誠実な」生き方ができる人材の育成をしていきます。

誠実な教育の実践

時代や学生の要求する知識・技術が習得できるように誠実な教育を実践していきます。

誠実な学校

学校が、地域社会の一構成組織体として、社会に範たる存在となることを目指していきます。

(2)教育目標

自主性・創造性に富み、専門的な知識や技術の習得に励む心豊かな人材を育成する。

高い職業意識を培い、実践的な専門職として勤労意欲に満ち、地域に貢献できる人材を育成する。

(3)重点目標

①主体性を育む教育方法を確立し、高度な資格検定の取得者を輩出する。

- ②習得した知識や技術を社会で応用できる実践的な職業教育を行う。
 - ③業界や地域社会と連携を図りながら、県内就職を推進する。
- (4)入学受入方針（アドミッションポリシー）
- ①夢や目標を持ち、実現のため自ら積極的に学ぶ意志がある。
 - ②専門技術を身に付け、地域や社会に貢献する意欲がある。
 - ③人間性が豊かで心身ともに健康である。
- (5)教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）
- ①カリキュラムの基本構成は基礎科目、専門科目、実践科目で教育課程を編成し、講義、実習、演習を効果的に組み合わせた教育を行う
 - ②産学連携を推進し、実践・実務教育の充実を図る。ボランティア、インターンシップ、留学制度等を充実し、学生が地域社会において学びを応用できる教育を行う
- (6)卒業認定方針（ディプロマポリシー）
- ①専門分野における知識・技術を習得し、それらに裏打ちされた豊かな人間性を身に付けていること
 - ②時代の変化に対応し、主体的に学び実践し続ける力を身に付けていること
- (7)スローガン 「Jump now !」（今をジャンプする）
- ①どこにジャンプするのか（目標地点を決め、努力する方向性を定める）
 - ②どのようなジャンプ力をつけるのか（いかなる能力と方法で努力するのか）
 - ③ジャンプ後どうなるのか（職業人としていかに活躍し、豊かな人生を送るのか）

2 学科の定員及び学生数の状況（2023年5月1日現在）

学 科 名	入学定員	収容定員	学生数
高度職業実践科	10	30	17
情報システム科	50	100	77
ビジネスマネジメント科	20	40	36
医療事務科	25	50	49
ホスピタリティマネジメント科	25	60	30
合 計	130	280	209

3 主な教育活動実績

- (1) 令和5年度秋田県即戦力人材育成支援事業2件採択(計4,200千円)
- ・産学連携によるDX推進に向けたICTコア人材育成と実践的な職業教育による県内就職への取り組み(2,200千円)
 - ・訪日外国人客にも対応できるホテリエに必要なスキルの育成と若い世代に対する秋田・観光業の魅力発信の為の取り組み(2,000千円)
- (2) (一財)日本医療教育財団 教育優秀校表彰(6/1、全国211校中20校、3年連続4回目)
- (3) 第18回若年者ものづくり競技大会(7回連続、8/1～2、静岡市)

- ・ウェブデザイン職種1人、グラフィックデザイン職種1人出場
- (4) 電話応対コンクール秋田中央ブロック大会(8/29、医療事務科2年5人、準優勝1人・入賞1人)
- (5) 電話応対コンクール秋田県大会(9/20、医療事務科2年2人、準優勝1人)
- (6) 特別講演会(9/27、医療事務科、小泉県医師会長、ホテルメトロポリタン秋田、県補助事業)
- (7) クルーズ船ボランティア(9/28、ホスピタリティマネジメント科)
- (8) E Tロボコン (E Tソフトウェアデザインロボットコンテスト) 2023
 - ・東北地区大会(10/8)
 - 3年生：競技部門優勝・総合部門準優勝、4年連続4度目全国大会出場へ
 - 2年生：企業連携(株)マイナビEdge)、総合部門5位入賞、JASA東北賞
 - ・チャンピオンシップ大会(東北地区代表、4年連続4度目、11/16～17、横浜市)
 - 全30チーム出場中第9位
- (9) SDGs全校クリーンアップ活動(10/11、学生会主催、秋田市内5エリア)
- (10) 2023キッズプログラミングアワードブース出展(10/22、ALVE、ミニドローン・ETロボコン・Sota体験、学生7人)
- (11) 第4回レストランサービス技能コンペティション
 - (10/23、秋田キャッスルホテル、県事業、報道:魁・NHK・ABS・AKT・AAB)
 - 第4回カクテルコンペティション(10/31、イヤタカ)
 - 第2回ホテルレセプション職種コンペティション(11/8、ミルハス)
- (12) 第61回技能五輪全国大会 2年連続敢闘賞
 - (8回連続出場、11/17～20、愛知国際展示場、ウェブデザイン職種2人出場)
- (13) 講演会・共賛会総会
 - (11/29、「土砂災害予測とAI」、秋田大学大学院 准教授 荻原俊寛氏、ホテルメトロポリタン秋田)
- (14) 模擬披露宴(2/4、イヤタカ)
- (15) 卒業研究発表会(2/14、ミルハス中ホール)
- (16) 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会開催(6/14、10/25)

4 進路実績

学 科 名	卒業生数	就職希望	内定者数	内定率
高度職業実践科	4	3	3	100%
情報システム科	28	26	26	100%
ビジネスマネジメント科	14	11	11	100%
医療事務科	22	22	22	100%
ホスピタリティマネジメント科	7	7	7	100%
合 計	75	69	69	95.5%

進学（大学編入）2名

III 秋田リハビリテーション学院

1 教育理念等

(1)教育理念

豊かな教養及び高度な専門知識と技術を身に付け、知的・倫理的な行動、判断及びコミュニケーション能力を発揮して、保健・医療・福祉分野において持続的で健康的な文化の進展に寄与し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

(2)教育目的

全人教育のもと、人を理解でき、高度なりハビリテーションの実践を可能とし、絶えず持続的な向上心を持って切磋琢磨できる理学療法士となって、地域と共に歩める人材の育成を目的とする。

(3)教育目標

- ①生活の質を向上したいという対象者の意欲を湧き起こさせる豊かな人間性と倫理性を涵養する。
- ②医療に携わる上で必要な医学・医療に関する知識と理学療法技術を修得する。
- ③医療現場において課題を発見し、適切な解決策を講じることのできる問題解決能力及び判断力と実行力を備える。
- ④対象者を中心とした「チーム医療」に一役を担える協調性を涵養する。
- ⑤情報技術を活用し、国際的視野に立って地域医療に貢献できる能力を備える。

(4)入学者受入方針（アドミッションポリシー）

- ①保健・医療・福祉・スポーツ領域の専門職を志す動機や意欲を有する。
- ②高度専門士の教育を受けるにふさわしい基礎的学習能力を有する。
- ③真理・真実を探究する意欲があり、謙虚で豊かな感性を有する。
- ④他の多くの職種との連携やチームワークに必要な協調性を有する。

(5)教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

- ①基礎教育、専門基礎教育及び専門教育に分類するが、お互いに深い関連性を持たせる。
- ②人間形成に資する基礎教育を専門教育の必要性に応じてカリキュラムの中で各年次に楔状に導入する。
- ③専門基礎教育を充分理解した上で、専門家として自律できるようにするために専門知識と技術の段階的な積み上げ方式導入する。
- ④対象者の個人と生活を最大限に尊重し、対象者とその家族及び在宅医療に関わる一員として保健医療関連職種従事者と円滑な連携活動ができる素養を身に付けるための教育を導入する。

(6)卒業認定方針（ディプロマポリシー）

- ①幅広い教養を礎として形成された人間性、倫理性及び協調性を身に付けている。
- ②対象者やその家族の真のニーズを理解し、誠実に支援することができる。
- ③理学療法士としての優れた専門知識と高度な技術を修得し、深い洞察力による情報の統合と適確な判断によって、適切な理学療法を行うことができる。

- ④チーム医療及び地域医療において、臨機応変に理学療法を行うことができる。
- ⑤所定の単位の取得によって理学療法士国家試験受験資格を得ている所定の単位の取得によって理学療法士国家試験受験資格を得ている。

2 学科の定員及び学生数の状況（2023年5月1日現在）

学 科 名	入学定員	収容定員	学生数
理学療法学科	40	160	159

3 主な教育活動実績

<主な教育活動>

- ①1年生基礎実習実施 39人 3班編成 1班(1/29～2/24) 2班(2/26～29) 3班(3/4～7) 県内13施設の協力
- ②2年生地域リハ実習実施 40人 (8/29～10/6) 県内17施設の協力
- ③3年生評価実習実施 第Ⅰ期 1/29～2/24(20人) 第Ⅱ期 2/26～3/23 (20人) 県内21施設、県外10施設の協力
- ④4年生臨床実習実施 35人(2回)
第Ⅰ期 4/3～5/27(18人) 第Ⅱ期 6/5～7/22(22人) 第Ⅲ期 7/31～9/16(30人)
- ⑤卒業研究報告会開催 10/19 講堂
- ⑥講演会 2/1 租税教室(秋田南税務署) 12/7 年金事務所講座 11/30 魁NIB講座
- ⑦臨床実習指導者会議 11/22 45施設から45人の参加(県内29人 県外16人)

※在学生参加

<主な地域貢献活動>

- ①”いきいき秋田の健康レール” 健康寿命の延伸をお手伝いする鉄道 をコンセプトに、秋田内陸縦貫鉄道と一緒にプロジェクトを実施し、元気をサポートするためのヘルスケアプログラムを開発・提供
- ②地域包括支援センター等主催 転倒防止体操教室の開催(6回)
- ③県高校野球連盟の依頼による全国高校野球選手権秋田大会(甲子園)での県チームバックアップ
- ④日本パラスポーツ協会の依頼によるパラリンピック競技基礎測定会の運営・指導
- ⑤秋田県スポーツ協会の依頼による中学生育成競技力向上研修の指導
- ⑥県障害者スポーツ協会の依頼による県障害者スポーツ大会時のコンディショニング対応
- ⑦本産業界理学療法研究会でのシンポジスト対応
- ⑧日本理学療法士協会主催の臨床実習指導者講習会世話人対応
- ⑨群馬スポーツリハビリテーション研究会主催の講演シンポジスト参加
- ⑩秋田県医師会等からの要請による能登半島地震に係る医療従事者派遣事業参加
- ⑪秋田県看護協会の依頼による高等学校を会場にした医療人材の仕事紹介と魅力発見事業参加
- ⑫秋田県理学療法士研修会開催 10/29 参加者40人

⑬秋田県理学療法士会 専門領域研究班運動器グループセミナー開催 12/9 参加者
30人

⑭秋田県理学療法士会 拡大理事会開催 12/6 参加者30人

⑮訪問リハビリテーション実務者研修会開催 3/2 参加者30人

⑯秋田県臨床実習指導者講習会開催 10/21～22 11/18～19

<その他>

①学校関係者評価委員会開催 7/10 秋田キャッスルホテル

②同窓会（秋明会）設立総会開催 3/3 講堂

4 理学療法士国家資格取得実績及び進路実績

学 科 名	卒業生数	国家資格 合格者数	合格率	内定者数	内定率
理学療法学科	36	34	94.4%	34	100%